

千年の森便り No.213

2021.05.20

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 坂本文雄

編集 真鍋昌義

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

5月16日(日) 天候 曇り一時小雨

コロナ禍でなければ例年5月の活動にはお客様を招いて南房総の自然を堪能してもらう公開行事の林道ハイキングが催されていますが、今年は規模を縮小しての観察会となりました。

また老朽化の為、先月取り壊された千年広場の雨除け避難場の再建作業に人手の大多数がとられたので観察会はやや寂しくなりました。それでも日増しに濃くなる新緑を渡る涼風と野鳥のコーラスを楽しんでもらえたと思います。管理が行き届いた公園とは異なり野性味ある空間はワイルドだろうの一言です。

お昼には島内の作業グループと合流してひと時を過ごしましたが、空模様が怪しくなってきたのと、再建作業の柱立てが一段落し区切りがついたので早目の退出となりました。

体験参加の助松さんご一家の皆さん夏や秋のキノコ観察にもお越しく下さい。(坂本)



足元ふらつく吊り橋渡って豊英島へ

この日入会の砂押さん含む会員12名に助松さんのご家族と友塚さん

参加者は、秋元、伊藤、鶴沢、及川、大原、苅米、久我夫妻、坂本、田島、成沢にこの日入会の砂押さんの会員12名に、当日参加の助松さんご一家4人、友塚さんの5人が加わり計17人でした。

〇ハイキング-景観コース

5月恒例のハイキングは、コロナ対策もあり2コースに分けました。例年どおり林道沿いの植物や昆虫を楽しむコースと、少し高いところから清和県民の森の景観を楽しむコースです。

景観コースは、一昨年の台風被害で未だ立ち入り禁止の場所もあり思うところまではいけませんでした。スタジイなどの常緑樹の鮮やかな若葉と、コナラなどの落葉樹の緑の対比も印象的でした。(伊藤)

〇林道ハイキング

久我さんと二人で、花や虫を見ながら、ゆっくりと林道を歩きました。ヤマボウシ、コゴメウツギ、ウツギ、ガマズミ、エゴノキなど初夏の白い花々がきれいに咲いていて、中でもアズマイバラの花の美しさが目を引きました。薄暗くても白い花は目立ちますが、「晴れていれば、もっと沢山の虫が花に来ていた」と思うと、ちょっと残念。

虫は少なかったのですが、久我さんが落ち葉や伐採木の樹皮の下などを一生



アズマイバラ

懸命探して下さり、いろいろな虫を見つけることができました。ありがとうございました。



ホシベッコウカギバ

ヒメウラナミジャノメ

ゴマフボクトウの幼虫

ジョウクリカワゲラ？

半透明な翅が美しいホシベッコウカギバは、この時期はお馴染みの蛾で、幼虫はヤマボウシなどを食べます。雨の中をヒメウラナミジャノメがヒラヒラ飛んでいました。リュウキュウマメガキの幹から木くずが出ていて、幹の下に赤っぽく丸い虫糞が沢山ありました。幹の上部は枯れており、その部分から久我さんが赤いゴマフボクトウの幼虫を探し出してくれました。お見事です！ジョウクリカワゲラと思われる大きなカワゲラが葉に止まっていた。途中から雨になってしまいましたが、陸貝が元気に這っていたり、クモの網の水滴がきれいだったり、苔がしっとりとしつたり美しくたり・・・、雨ならではの発見もあり楽しいハイキングでした。

(他に観察された昆虫) モリチャバネゴキブリ、フキバッタの一種(幼虫)、ヒシバッタの一種、ヤニサシガメ、アオジョウカイ、コマルハナバチ、シオヤアブ、シマハナアブ、クロキシタアツバ、ウスグロアツバ (田島)

○昆虫等観察記録

雨で気温も低めのため、虫の姿は見られません。でも、虫たちは葉の裏など、どこかで雨宿りをしているはず。時間があまりなかったので、保護柵内で虫探しをしました。ムラサキツマキリヨトウという、脚が毛むくじゃらで複雑な模様の蛾がとまっていた。この幼虫はシダを食べます。蛾は夜行性のものが多いですが、どうして複雑な色と模様を持つものが多いのでしょうか？不思議です。



ムラサキツマキリヨトウ



アオオサムシ

坂本さんが穴を掘って土を掻き出すと、アオオサムシがいました。偶然とはいえ虫を傷つけることなく上手に掘り出してくださり、「ナイスキャッチ！」思わず

拍手をしてしまいました。雨の日は虫がいないのではなく、どこかに隠れており、それを探すのも楽しいです。(他に観察された昆虫) モリチャバネゴキブリ、シロオビアワフキ幼虫、バラルリツツハムシ、フタホシアトキリゴミムシ、ムネアカオオアリ、ヒメウラナミジャノメ、ノンネマイマイ幼虫、ハスオビエダシヤク幼虫 (田島)

県民の森ハイキングと豊英島

2017年以來、久しぶりに清和県民の森でのハイキング行事に参加しました。

今回は宣伝しなかったということで9人の小グループでしたが、家族の参加があって賑やかでした。サワガニを見つけたとき、あるいは(豊英島にてですが)、初めてキノコを採ったときの女の子の驚きと喜びに満ちた声を聞くだけで私も楽しくなりました。



地面のエゴノキの花をみて



:ミツバツツジの森を抜け

また、前回とは違うルートを歩きましたが、未だに残る一昨年(2016年)の台風の爪痕に触れることができる貴重な機会となりました。



豊英島のヤマツツジ

シカの足跡を探して

モミの実生が沢山

さて、私にとってのハプニングが2つありました。まずはトビの雛（と言っても巣の中でかなり大きくなっていました）。4年くらい前になるでしょうか、やはり雛がいると聞いて巣を見に行きましたが、そのときは、はっきりと確認できませんでした。その後、巣を作らなかったと聞いた年もあり、豊英島の豊かな自然の一つの象徴なのに残念と思った覚えがあります。今回はトビの巣のことは頭になく、思いがけず、嬉しいことでした。

次にヤマビル。過去にも「未遂事件」はありましたが、今回、初めて血を吸われました。あとから思い返せば、ハイキングの途中で靴下に枯れ葉か小さい枝が刺さったようにチクチクしたところ。靴下に血がついていて、足くびに丸々とした黒い物体。確かに気持ちのいいものではありませんが、「これか！」「ついに来たか！」という感じが強くて、自分でも可笑しい初体験でした。実は、豊英島でも、そのあと個人的に三島の方に寄ったときにも吸われ、一日に3回。さすがに「勝手に血を吸うなよ、勘弁してよ」とぼやきました。

今回は雨のため、豊英島をゆっくり散策する時間がなかったことが少し残念でした。また、機会を作って伺いたいと思いますので、宜しく願いいたします。（友塚）

○自然との出会いに感動

清和県民の森のハイキングでは、思わぬ難所の連続で、アウトドアレジャーの醍醐味を感じました。鹿の足跡やフン、リスや青大将、山ビルなどに遭遇し、実際に見ることで、普段の生活とは異なる、本当の自然を感じることが出来ました。

普段入ることのできない豊英島では小屋作りの現場を見学させていただきました。柱を立てるための穴掘り器の使い方を目の前で見ていただいたり、その穴掘り器から出てきた虫を見た長女が取り乱したり、ご迷惑をお掛けしたかと思えます。

今回参加させていただいたのは、次女がキノコに興味があり、吹春先生のご紹介をいただいたのがご縁です。その次女は、豊英島にて鳶の巣や、キノコを見ることが出来、感動しておりました。山歩きの経験が無いため、色々優しく教えていただき、また行きたい！と話しております。次回はキノコの季節となる6月以降、またの機会に活動にお邪魔出来れば、と思えます。本日はありがとうございました。（助松絵美子）

05月の花など

昨年からずっとうれしくなる目撃が続いています。今回は5年目にして出会えたキンランです。キンランはホコラ山東側のハリギリの根本付近で1株、9輪の花を咲かせていました。褐色の林床で鮮やかな黄色を目にするとハットとしたり、得した気分になります。

吊橋着岸点の脇に生えてくる1株のツチアケビは見当たらずに、ミヤマナルコユリが1株2輪の花をつけていました。ここからホコラ山側までの間にエゴノキの白い花があちらこちらで咲いていました。また、アオダイショウとジムグリ（薄い桃色）に遭遇しました。苦手な私はいつもドキとし、遠巻きに避けていきます。1mほどはあったように思います。5月に確認した広場脇のツチアケビは4本に減っていて1本が50cm程度、残りの3本は20cm程度の高さでした。吊橋からはマルバアオダモが白い花から赤っぽい針のような果実に変わり、枝先いっぱいつけていました。午後の予定のために活動を一人切り上げ、ダムに向かい帰宅しました。途中、ナワシロイチゴがピンクの実をたくさんつけていました。ダムの中央部からは白く放水流がアーチを描いて放流されていました。（秋元）



キンラン

ミヤマナルコユリ

エゴノキ

マルバアオダモの果実



ツチアケビ

橋から見るヤマボウシ(坂本)

アオダイショウ

ジムグリ

0センサーカメラ撮影記録（4月18日から5月16日までの29日間）

ニホンジカの記録される件数が少なくなっています。ハクビシンは4月に頻繁に記録されましたが5月は1回のみでした。不明種の記録も激減しています。

CAM1：ニホンジカ1回、ハクビシン12回、キジ1回、不明種3回

CAM2：ニホンジカ9回、ハクビシン3回、ハシブトガラス1回、不明種0回（秋元）



ハクビシン

ニホンジカ

キジ

動画は You tube チャンネル「ちば千年の森をつくる会」をご覧ください。

○千年広場 休憩場所のリニューアル

千年広場の休憩場所のリニューアルが本格化しました。

苅米さんの指揮の元、休憩場所のテーブルを覆う屋根用支柱の設置を行いました。まずは支柱上部を固定するための横木となる竹材の確保です。ホテイ岬近辺の竹林から直径 8cm 前後のタケ 20 本程度を切り出し、千年広場まで運びました。他の皆さんはこともなげに普通に歩かれるのですが、植生の劣化が進みスカスカの林地でも最長 7m の長尺ものを運ぶことがあれほど大変だとは思いませんでした。特にどこかに引っ掛かっているようには見えないのですが、まるで誰かが竹を押さえて邪魔しているかのように動きが取れなくなり、大原さんに発見・救助していただきました。



時間がかかりすぎ途中で挫折したスギ材の皮むき

骨組み全景 低層化により場へのなじみが増したような

また、支柱の杉材を所定の位置に空けた穴に差し込むのも一苦労でした。設置場所一面がデコボコなため同程度の深さの穴を掘って同じ長さに切った支柱を立ててもなかなか同じ高さにならず、『ここが高い』で穴を深くしそこを低くすると、『今度はそっちが…』の繰り返しで、危うくイソップ物語の『するいきつね』を地で行くところでした。

時折り雨がぱらつきいつ中止となってもおかしくない天気の中での作業でしたが、無事骨組みを完成させることができました。

今回のリニューアルには、耐久性とメンテナンス性の向上のため、以下の配慮が施されています。

- ① 耐久性向上のため、支柱を竹材から木材（杉）に変更
- ② 雨天時のブルーシートの着脱、劣化・破損部分の修理などメンテナンス性向上のための低層化。

参加者は鶴沢、及川、大原、苅米、久我の 5 名、外出自粛でなまった体には久しぶりの良い運動になりました。（及川）

お知らせ

○入会しました。

先日から何度か会の活動に参加させていただいていたのですが、この度正式に入会させていただくこととなりました。豊英島の自然と親しみながら、皆さんと楽しく交流できればと思っています。これからよろしく願います。（砂押里佐）

○次回活動日は6月20日（日）です。

全体作業は、ニホンジカ生息状況調査、水辺のごみ拾い、駐車場及び電気柵付近の草刈りが予定されています。梅雨の時期で蒸し暑いことが予想されますので、コロナ対策、熱中症対策をしてご参加をお願いします。

9時30分に清和自然休養村（直売所）集合です。ヘルメットをお忘れなく。（福島）